

2012年 日本感性工学会各賞表彰

日本感性工学会各賞授与式が、平成24年8月30日(木)9:30-10:00 第14回日本感性工学会大会中、東京電機大学 東京千住キャンパスで開催されました。

特別功労賞

神田太樹

感謝状

岡野雅行 (岡野工業株式会社)

論文賞・技術研究賞・事例研究賞

- (1) 論文賞 原則として前年1月より12月までの「Kansei Engineering International Journal」または「日本感性工学会論文誌」に掲載の Original Articles の中で、創意があり学術的に高い価値を有すると認められたもの。
- (2) 技術研究賞 原則として前年1月より12月までの「Kansei Engineering International Journal」または「日本感性工学会論文誌」に掲載の Original Articles の中で、創意があり技術的に高い価値を有すると認められたもの。
- (3) 事例研究賞 原則として前年1月より12月までの「Kansei Engineering International Journal」または「日本感性工学会論文誌」に掲載の Original Articles の中で、創意があり事例研究として高い価値を有すると認められたもの。

論文賞(2件)

1. ラバン理論に基づいたヒューマンフォームロボット身体動作の動作特徴抽出と表出感情推定

増田 恵, 加藤昇平, 伊藤英則

日本感性工学会論文誌 Vol.10 No.2, 通号 030, pp. 295-303

[受賞理由]

本研究では、ラバン理論を用いて身体動作を表現し、身体動作によってロボットの自然で自律的な感情表出をおこなう手法を提案した。また、ロボット実機を用いた表出感情評価実験と分析を通して、身体動作から感情を推定するための推定式を生成し、その有用性を確認した。この研究の知見は、人間とロボットとのインタラクションに役立てることができると期待される。また、対象動作をロボットではなく人間の身体動作に置き換えることにより、人間同士のコミュニケーションにおける身体動作からの感情推定にも応用可能であると期待される。以上のことから、感性工学にとって貴重な貢献をもたらすものとして、本学会の論文賞に値すると考えられる。

2. デザイン開発におけるポジショニング分析の活用 —ガウス関数を用いた選好回帰分析の試行—

池本浩幸, 山岡俊樹

日本感性工学会論文誌 Vol.10 No.2, 通号 030, pp. 193-203

[受賞理由]

本研究では、デザイン開発の現場でしばしば用いられるポジショニング分析から得られる知覚マップに、回答者の選考の変化を重ねて図示することにより、顧客に好まれるデザインの位置を可視化するデザイン開発支援手法を提案し、評価実験を通してその有効性を確認した。本研究の知見は、経験と勘が重視されがちなデザイン開発の現場において、デザイナーとクライアントその他利害関係者との相互理解の促進に役立ち、科学的なデザイン理論の形成に寄与すると評価される。また、本研究の提案手法は実際に企業のデザイン開発の現場でも適用されており、実践研究としても貴重な知見をもたらすものである。以上のことから、本論文は日本感性工学会の論文賞に値すると評価される。

技術研究賞(1件)

物語のシーンの印象に基づいた声楽曲の生成

石塚賢吉, 鬼沢武久, 加藤 茂

日本感性工学会論文誌 Vol.10 No.4, 通号 032, pp. 523-534

[受賞理由]

本研究では、物語のシーンの印象をもとに変奏曲と歌詞を生成し、生成した変奏曲と歌詞を組み合わせることによって当該シーンに合った声楽曲を生成するシステムを提案し、構築した。また、評価実験を通して、シーンに合った声楽曲を生成できていることを確認した。本研究の成果は、高品質なマルチメディアコンテンツの作成を支援する技術として応用可能である。本研究で構築されたシステム自体も完成度が高く、技術的な価値が高く評価される。以上のことから、本論文は本学会の技術研究賞にふさわしいものであると認められる。

事例研究賞 (該当なし)

以上

日本感性工学会 論文賞・技術研究賞・事例研究賞 選考委員会

委員長 加藤俊一(中央大学)

委員 椎塚久雄(工学院大学)

庄司裕子(中央大学)

出版賞

賞の内容:学会員が主体となって出版した感性工学に関わる著書。推薦された候補から所定の選考委員によって選び、表彰する。2009年以降の出版物が対象。

出版賞(該当なし)

以上

日本感性工学会 出版賞選考委員会

委員長 大谷 毅(信州大学)

委員 加藤俊一(中央大学)

高寺政行(信州大学)

山中敏正(筑波大学)

第13回日本感性工学会大会 優秀発表賞

大会優秀発表賞は前年度大会での発表の中から優秀な発表を行った若手会員を奨励するものである。

1. 土生知恵美 (ユニ・チャーム株式会社)
脳波による香り感性診断(2) —パンティライナーに求められる香りとは—
2. 吉田さちね (独立行政法人 理化学研究所)
仔マウスが運ばれる時に示す輸送反応の研究:制御機構と愛着形成への関与の検討
3. 川副智行 (株式会社 資生堂 リサーチセンター)
感性評価を可能にするウェアラブル触動作センシングシステムの開発
4. 長谷川 優 (近畿大学)
聴取経験・未経験の楽曲のイメージング時における脳の反応の比較
5. 中澤美紗子 (信州大学)
絵画の特徴に関する研究 —NPR の観点からの把握—
6. 佐々木 孟 (札幌市立大学)
Web サービスにおける利用規約閲覧に関するユーザーの実態調査
7. 河瀬彰宏 (東京工業大学)
日本民謡コーパスを用いた音階判別法の検証
8. 高木香緒里 (拓殖大学)
絵画技法を用いた肌色の印象評価
9. 高辻賢司 (東京大学)
視覚・触覚間の予実差を考慮した触感評価手法
10. 松本知久 (東京工業大学)
物体表面の光沢感変化に伴う金銀銅色の色度範囲の変化
11. 土井幸輝 (独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所)
アクセシブルデザインを目指したパンフレットの作製技術の確立
12. 金田 澄 (ライオン株式会社 ビューティケア研究所)
リンスインシャンプーの使用感評価 —生理機能測定の可能性—
13. 田和辻可昌 (早稲田大学)
擬人化エージェントに対する帰属と印象の相互変化の構造分析
14. 中塚圭子 (兵庫県立大学)
伝統行事にみる犬との共生社会実現のための感性
—秋田県湯沢市「犬っこまつり」に集う人々の感性について
15. 佐々木賢二 (花王株式会社)

化粧行為における心の動きについての検討

16. 菱沼 隆(千葉大学)

低解像度白黒デジタル表示媒体用ピクトグラムの開発

以上

第13回日本感性工学会大会優秀発表賞選考委員会

委員長 椎塚久雄(工学院大学)

委員 林 真理(工学院大学)

いずれも受賞対象は学会会員。